

令和2年度 一貫校研修 小野中グループ研修B班 まとめ

数学科 廣木 拓

1 単元名「平行線と角」

本時 6 時間目

ねらい「平行線の性質や三角形の内角、外角の性質を使って角度を求める方法を説明できる」

2 成果

(1) <小野の教科指導の重点について>

「わかったことや考えたことを式、図、表、グラフ、数学用語などを用いてわかりやすく説明できる。」について

○課題の解き方を板書した生徒とは違う生徒に説明させることで、補助線の意図や解き方を共有させることができた。

○隣同士のペアで説明し合う時間を作ることで、相手にわかりやすく伝えるために、数学用語や図を使う必要性を感じさせることができた。

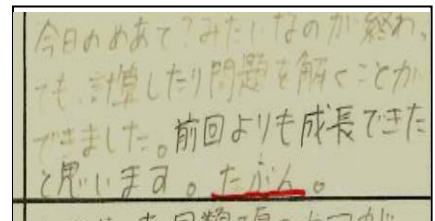


(2) <まとめ・振り返りの充実について>

<まとめ・振り返りの充実>

本時の振り返りを振り返りシートに記入させる。

○継続して振り返りをかかせてきたことで、振り返りの内容が具体的になった。特に、授業のポイントを明確に書くことができるようになった。

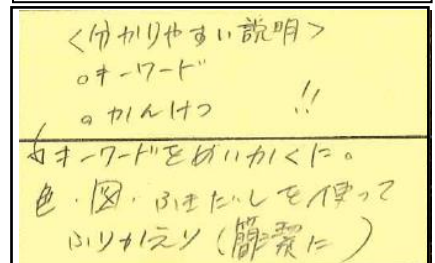


6月頃の振り返り

<つなぎ教材>

導入部分で、ホワイトボード既習事項を掲示する。

○既習事項を掲示することで、本時の課題を解くために、どの既習事項を活用すればいいのか、見通しをもたせることができた。



本時の振り返り

授業改善に向けて、私はこうします！

○課題

・導入の部分で、既習事項を確認したとき、数学的な用語（平行線の錯角、三角形の内角、外角など）の確認が不十分であったため、生徒が解き方を説明するとき、数学的な用語を正確に使わせることができなかった。

・最初の課題で平行線と角の性質の活用、三角形の内角と外角の関係の活用をきちんとおさえなかったため、生徒が次の課題でどのような考え方を活用するのかが不明確になってしまった。

○改善策

・既習事項を確認するとき、文言もしっかり確認し書き出すことで、どの言葉を使えば良いのかがはっきり分かる。説明するときもそれを使えば良いことが分かる。

・教師側が最初の課題の意図をはっきりさせておくことで、生徒が次の課題でどのような考え方をすれば良いかを明確にすることができる。